

# An empirical study on the way to create effective audio-visual information using telops and sound effects

金, 基弘

<https://doi.org/10.15017/459597>

---

出版情報 : 九州大学, 2006, 博士 (芸術工学), 課程博士  
バージョン :  
権利関係 :

## 謝辞

本研究を進めるにあたり、常に的確なご指導とご助言をいただいた岩宮眞一郎教授に心よりお礼を申し上げます。恩師の岩宮眞一郎教授には、研究者としてのあり方を学ぶことができた。改めて感謝の意を表したい。また、博士論文をご査読いただいた中島祥好教授、中村滋延教授にも深くお礼を申し上げます。

本論文の第2章に関するご助言や日頃の研究に関する有益な議論をしていただいた高田正幸博士に心より感謝する。また、第3章と第4章の実験に関してご協力をいただいた藤丸紗由美氏と岩崎敬吾氏にも深く感謝する。さらに、ご了解のうえで、個々の実験にご参加していただいた被験者の方々にも深く感謝する。

本研究の内容に関して、日本音楽知覚認知学会、日本音響学会音楽音響研究会、AES ジャパンコンファレンス、APSCOMなどの学会、研究会において有益なご議論を下された方々に深く感謝する。

本研究は、九州大学 21 世紀 COE プログラム「感覚特性に基づく人工環境デザイン研究拠点」および九州大学ユーザーサイエンス機構の補助を受けた。特に、栃原裕教授には九州大学 21 世紀 COE プログラム「感覚特性に基づく人工環境デザイン研究拠点」平成 17 年度若手研究者研究活動支援で大変お世話になった。深く感謝する。

留学の間に日本学生支援機構、ロータリー米山記念奨学会、日本政府文部科学省からは奨学金をいただいた。ここに感謝する。

集筆中は、何よりも家族に迷惑をかけた。本論文を娘の昭美ちゃんに捧げる。